

ジャムナ多目的橋建設事業



ジャムナ多目的橋

借款概要

承諾額/実行額	21,562百万円/21,290百万円
借款契約調印	1994年6月
借款契約条件	金利1.0%、返済30年（据置10年）
貸付完了	2000年8月

事業概要

ジャムナ川に多目的橋を建設することにより、増加する東西交通量に対応し、輸送上の問題の解決を図ると共に西側地域の経済活動を活性化することによって東西間の地域格差の是正を図り、同国の経済発展に寄与するもの。

評価結果

バス・乗用車・バイクの交通量はいずれも計画値を大きく超えており、交通量全体も計画値を7割上回っている。トラック交通量は、当初代替交通手段であるフェリー料金に比べ高額であることから計画値を下回っていたものの、年々交通量は増加し、2000年にはほぼ計画値を達成しており、今後も伸びが見込まれる。ジャムナ橋が建設される以前唯一の渡河手段であったフェリーの待ち時間は8～48時間に及び、またその渡河時間も約2時間半要していた。こうした渡河時間も、ジャムナ橋ではわずか10分強に短縮された。

また、本事業により東西の物流が促進され、ジャムナ橋に併設された送電線やガスパイプライン等により東西がネットワークで結ばれることとなり、本事業は東西格差の是正、経済活動の活性化に寄与している。

維持管理状況は、現在のところ特段の問題はない。